

2019年1月11日

各位



データ・フォアビジョン株式会社


代表取締役社長 菊池 裕



日本リスク・データ・バンク株式会社

代表取締役社長 西村 拓也

データ・フォアビジョン株式会社と日本リスク・データ・バンク株式会社の
経営統合に関するお知らせ

データ・フォアビジョン株式会社（東京都中央区築地 5-6-10、以下「**DFV**」）、および日本リスク・データ・バンク株式会社（東京都港区芝公園 1-8-21、以下「**RDB**」）は、本日両社の臨時株主総会において、「**株式移転方式による共同持株会社の設立**」により、経営統合を行うことを特別決議し、2月1日発足の新会社  **ForeVision 株式会社**の**100%**子会社となることを決定いたしました。

ForeVision 株式会社は、非上場企業としては事例の少ない「**監査等委員会設置会社**」とし、コーポレート・ガバナンスを徹底した経営を進めて参ります。両社一丸となって、持続的な成長と新たな社会的ソリューションの創出に努めて参りますので、今後とも変わらぬご指導・お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

1. 経営統合の目的

DFVにて**22**年、**RDB**にて**18**年、両社合算にて**40**年、両社グループ総計にて**喜寿**を迎えるにあたり経営統合を決意しました。両社はこれまで協働、共同にて、様々な事業を幅広く展開しています。“今まで成し遂げてきたこと”は、今後もきちんと継続的に発展させていきます。しかし、現下の大変厳しく一層の困難が見通される銀行経営において、両社創業来の財務諸表に対する**FinTech**（静態モニタリング）のみで、必要十分な貢献は成し得ないと判断しました。そこで“**FinTech-AI** 技術”を更なる戦略研究の上、静態モニタリングと両輪にて、総合的な 〔(IOT) & (AI) 動態モニタリング〕 を実現し、“安心活機”の日本経済を“想像”し“創造”するよう、両社の**FinTech**リソースを戦略的に統合運営し、画期的な “フィナンシャル・デジタルイゼーション” を現実社会に建築して行きます。



そして、信用リスクのみならず、金利リスク、為替リスク、株価リスク、ALMリスク、オペレーショナル・リスク、コーポレートガバナンス・リスクなど、金融機関を取り巻くリスクに対して、〔総合したリスク・ソリューション〕の提供態勢を確立します。

経営統合は、全てのリスクカテゴリーを総合にてマネジメントするソリューション展開において最適であり、他にそのような相手が存在しない理想の統合相手です。創業以来、両社は緊密に事業展開しており、人的融合においても不安はありません。そして何よりも、両社のお客様は、両社の様々なソリューション・ユーザーであり、総合的なサービス提供は歓迎されるものと確信しています。

銀行・金融界のデジタルイノベーションを **FinTech-AI** にてエンパワードし加速させる
それによる多様性ある「安心活機」の日本経済の現出を私たちの使命とします

2. 経営理念

株式移転方式にて発足する共同持株会社 **ForeVision** 株式会社は、**FinTech-AI** により、「安心活機」の未来を能動的に引き込む「公共的使命」を達成すべく、以下の経営理念、行動理念、具体的行動をコーポレート・ガバナンスの基盤として経営して行きます。



<経営理念>

人類が産み出す「経済足跡」を、「科学手法」により収集し合理精練の上、「デジタル指数」に変換し、利用可能な客観標準情報として社会に提供し、もって人類経済の更なる「安心活機」の開花と発展に寄与する。

<行動理念>

「理想社会の実現」を、「科学手法」により、想像し創造し、
今生きる私たちが能動にてそれを「今に引き寄せる」、
「公共的使命」を果敢に全うする。

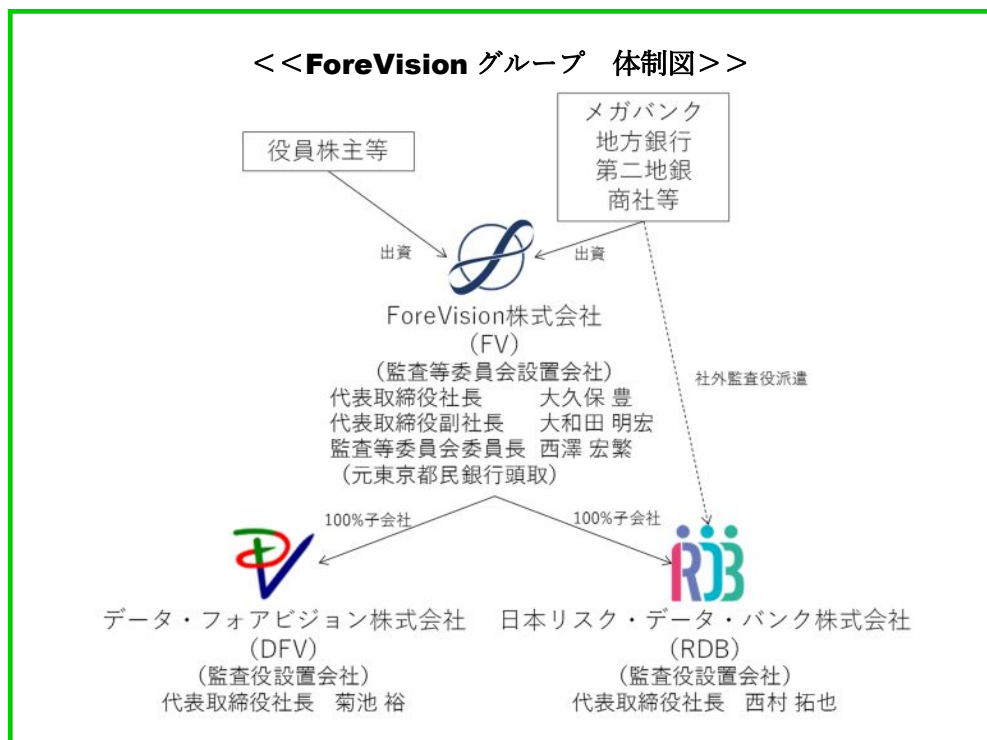
<具体的行動>

- ① 電子電腦化する人類経済を記録する様々なデータを常に「能動探知」する
- ② 探知されたデータに対して客観科学手法により情報へと「精練生成」する
- ③ 精練生成された情報を、人類の未来資産となるよう「標準保存」する
- ④ 標準保存された情報から、理想の未来を創出する「人工知能」を形成する
- ⑤ 電子電腦化する人類経済社会にその人工知能を「社会実装」する
- ⑥ 上記を科学実践できる数理及び情報システムの「研究開発」を革新実行する



3. 組織態勢

経営統合の完了する本年 2 月 1 日以降、両社は **ForeVision** 株式会社の **100%**子会社となり、グループ一体として持株会社体制下での経営に移行します。



両社の各種ソリューション・サービスのお客様は **80** 社以上にも及び、そのうちの多くを占めるのが、全国津々浦々の銀行ユーザーです。両社のソリューションは、リスク管理をはじめとする銀行の最重要業務の根幹をなしております。サービスの持続性、情報の機密性等の観点から、両社の経営にはソリューション・プロバイダとして特に高度なコーポレート・ガバナンスが求められるものと理解しております。

両社の持株会社 **ForeVision** 株式会社は、国内の非上場企業としては非常に例の少ない「監査等委員会設置会社」として発足し、コーポレート・ガバナンスの徹底に万全を尽くして行きます。

DFV・RDB においては、法人体とサービス体制は不変でありますので、本経営統合において、お客様、ユーザー行における特別な手続きは原則必要ありません。

また **RDB** 創業以来の株主であります全国の銀行、商社におかれては、統合後も持株会社の株主として変わらずステークホルダーの立場を維持して頂く予定であり、引き続き、社外監査役の派遣をお願いし、高度な機密性・独立性が求められる共同データベースの運営を履行し、頑健なコーポレート・ガバナンスを継続して参ります。



4. 経営統合後の役員人事



ForeVision 株式会社 (2019年2月1日発足)

代表取締役社長	大久保 豊	
代表取締役副社長	大和田 明宏	
取締役	菊池 裕	
	西村 拓也	
	稲葉 大明	
	尾藤 剛	
監査等委員会委員長	西澤 宏繁	東京都民銀行元頭取、企業再生支援機構元社長
監査等委員	大竹 勝利	日本リスク・データ・バンク株式会社前副社長
	張 毓宗	イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社 代表取締役社長
	床井 好雄	さくら情報システム株式会社元取締役専務執行役員
	小野 優	税理士、ゆう総合会計事務所代表



データ・フォアビジョン株式会社 (2019年1月11日以降)

代表取締役社長	菊池 裕	
常務取締役	小山 靖寛	収益管理・ALMソリューション、 ALM・リスクソリューション担当
取締役	水上 純一	クレジットリスクソリューション、開発担当
	稲葉 大明	ビッグデータ・ソリューション、BPO 事業担当
	尾藤 剛	データ・サイエンス担当
	大久保 豊	経営企画担当



日本リスク・データ・バンク株式会社 (2019年1月11日以降)

代表取締役社長	西村 拓也	
代表取締役副社長	稲葉 大明	デジタルイノベーション、DynaMIC 事業担当
専務取締役	尾藤 剛	データベース統括、データ・サイエンス担当
取締役	大久保 豊	経営企画担当
	張 毓宗	

<本経営統合に関するお問い合わせ先>

データ・フォアビジョン株式会社	経営管理本部	03-6226-6600 (担当：鷺巣)
日本リスク・データ・バンク株式会社	経営管理本部	03-5425-2331 (担当：尾藤)

以上

